

平成25年度環境省委託業務報告書

平成25年度一般環境経由による
石綿ばく露健康リスク調査（横浜市）
委託業務報告書

平成26年3月

横浜市

目 次

1	目的	1
2	内容	1
3	結果	3
4	まとめ	5
5	石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者の 診断経過について	5
6	平成 25 年度未受診者の状況	5
7	今後の予定	5
8	参考資料	5

<資料>

表 1 ・ 表 2 ・ 表 3	6
表 4 ・ 表 5	7
表 6 ・ 表 7	8
A 表	9
B 表	10
C 表	11
D 1 表 ・ D 2 表	17
D 3 表 ・ D 4 表	18
D 図	19
表アー 1	20
表アー 2 ・ 表イ ・ 表ウ	21

<参考資料>

別添 1 問診票	22
別添 2 受診券	29
別添 3 照会票	31
別添 4 横浜市石綿ばく露健康リスク調査指定医療機関一覧	32
別添 5 横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会委員名簿	33

1 目的

環境省では、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うため、平成18年度以降、調査への協力が得られた地方公共団体の住民に対して、問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集してきた（横浜市においては、平成19年度以降実施）。

平成22年度から第2期石綿の健康リスク調査（平成22～26年度の5年間で予定）として、毎年の検査（年1回）や健康状況の確認を行うとともに、従来からの解析に加え、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理のあり方を検討するための知見を収集する。

2 内容

(1) 調査対象者

原則として、次の①～③を満たす者を調査対象者とした。

- ① 平成元年までに、横浜市鶴見区に居住していた者
- ② 横浜市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者
- ③ 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者

なお、①については、それ以外の者も石綿ばく露の可能性があれば受け入れることを妨げないこととした。

(2) 調査実施体制

ア 横浜市

横浜市は、環境省の委託を受け、地域住民に対し、広報等で調査対象者を募集し、問診、検査（胸部X線検査（胸部CT検査））、読影（1次読影、2次読影）、健康状況の確認などのフォローアップを実施し、結果を集計する。

このうち、検査（胸部X線検査（胸部CT検査））、読影（1次読影）については、指定医療機関として、公益財団法人神奈川県予防医学協会、社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院、独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院、地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立循環器呼吸器病センター及び公立大学法人横浜市立大学附属病院に委託した。

精密検査については、指定精密検査医療機関として、社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院、独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院、地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立循環器呼吸器病センター及び公立大学法人横浜市立大学附属病院に委託した。

また、読影（2次読影）及び調査報告書作成（データの集計）のため、専門家（13人）による専門委員会（6回）を設置した。

イ 指定医療機関

指定医療機関は、必要に応じ診察を実施するとともに、胸部X線検査（胸部CT検査）を実施し、画像所見（1次読影）について、画像フィルム、データ及び画像所見報告書を、すみやかに横浜市へ提供した。

ウ 指定精密医療機関

指定精密検査医療機関は、横浜市の指定を受け、石綿関連疾患（中皮腫、石綿による肺がん、著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺、著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚）が疑われた場合、精密検査を行った。

(3) 画像の読影

1次読影として指定医療機関で胸部X線（胸部CT）の画像を読影し、2次読影として、専門家（13人）による読影を行い、医学的な観点からの判定や検討を行った。なお、2次読影では、必要に応じて平成22～24年度の検査画像と比較読影し、所見の変化を確認した。

実施した検査の胸部X線画像及び胸部CT画像の読影において、画像所見①～⑨を確認した。

画像所見

- ① 胸水貯留
- ② 胸膜プラーク（限局性の胸膜肥厚）
- ③ びまん性胸膜肥厚
- ④ 胸膜腫瘍（中皮腫）疑い
- ⑤ 肺野の間質影
- ⑥ 円形無気肺
- ⑦ 肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）
- ⑧ リンパ節の腫大
- ⑨ その他の所見（陳旧性結核病変など①～⑧以外の所見）

(4) 検査結果

横浜市は、読影の結果について、調査対象者に通知した。また、指定医療機関での1次読影の結果、石綿による疾患であるかに関わらず早急な治療を要する異常が見つかった場合、指定医療機関は、横浜市と連携し、調査対象者に結果を至急説明することとしているが、平成25年度は0件であった。

なお、指定医療機関による検査結果や専門家による読影会を実施することにより、精密検査又は医療の必要がある場合等の対応方針については、下記の「検査結果の振り分けの考え方①～③」により対応した。

【検査結果の振り分けの考え方】

- ① 精密検査又は医療の必要があるとされた者
認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導した。
- ② 所見を有しているが、医療の必要がないとされた者
認められた所見について説明し、直ちに医療機関へ行く必要はないが、経過観察を行うため、引き続き、当調査に参加し検査を受診するようお願いした。
- ③ 所見を有しない者
所見が認められないことを説明し、経過を確認するため、引き続き、当調査に参加し検査を受診するようお願いした。

なお、本調査で確認している所見の説明及び保健指導を行うに際しては、分かりやすく説明した。

(5) 経過観察

上記(4)において、①と判断された者については、調査対象者の同意を得て、医療機関への照会を行い、診断結果や治療経過等の把握に努めた。

(6) 調査報告書作成(データの集計)

上記(1)～(5)の一連の作業について、「横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会」において、医学的な観点からの検討、石綿のばく露歴や石綿関連疾患等の健康リスクについて集計を行った。

3 結果

(1) 調査協力者数

平成25年度の調査協力者は300人であった。

うち、問診及び検査を受けた者は260人、問診のみの者が40人であった。

検査を受けた260人の内訳は次のとおりである。

なお、【 】内は平成25年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

ア	問診及び胸部X線検査・胸部CT検査を受診又は資料提供した者	260人	【13人】
イ	アのうち、平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者(調査対象者)	238人	【13人】
(ア)	イのうち、現在も横浜市鶴見区に居住している者	175人	【10人】
(イ)	イのうち、平成17年以降のエー社検診(※)受診者	8人	【0人】
ウ	イ以外の者	22人	【0人】

※エー社検診：(株)エーアンドエーマテリアルが周辺住民に対して実施している検診

260人のうち、男性145人、女性115人であった。

また、260人のうち、年齢構成別では、60歳代が最も多く34.2%で、60歳以上の者が73.8%であった。

なお、260人のうち、現居住地は、鶴見区在住177人、他区在住71人、市外在住12人(県内6人、県外6人)であった。

表1	：検査項目別人数	・・・・・・・・	P6
表2	：年齢階層別人数	・・・・・・・・	P6
表3	：指定医療機関別人数	・・・・・・・・	P6
表4	：受診状況別人数	・・・・・・・・	P7
表5	：各年度の受診者数及び累計実人数	・・・・・・・・	P7
表6	：次年度検査予定者、検査終了者	・・・・・・・・	P8
表7	：平成25年度に受診しなかった者のアンケート結果	・・・・・・・・	P8

(2) 調査対象者の医学的所見・ばく露歴の整理

調査対象者の医学的所見・ばく露歴の整理については、環境省指定の注1～3の分類に従い図表A～Dに整理し、取りまとめた。

注1：医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関する医学的所見①～⑨を確認する。(重複含む)

- ① 胸水貯留が認められる者
- ② 胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚)が認められる者
- ③ びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④ 胸膜腫瘍(中皮腫)の疑いが認められる者
- ⑤ 肺野の間質影が認められる者
- ⑥ 円形無気肺が認められる者
- ⑦ 肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)が認められる者
- ⑧ リンパ節の腫大が認められる者
- ⑨ その他の所見(①～⑧以外の所見)が認められる者

注2：ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア～オは重複含む)

- ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

注3：ばく露歴分類については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする。

- ア 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ 上記ア～エに該当しないもの
上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談した。

A表	： 調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関するばく露歴集計表	・・・P9
B表	： 調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関するばく露歴分類と年齢階層別のクロス表	・・・P10
C表	： 調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関するばく露歴分類と画像所見のクロス集計表	・・・P11
D表	： 調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関するばく露歴分類が「オ(その他)」の者の詳細	・・・P17
D図	： 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図	・・・P19

4 まとめ

受診者260人のうち、平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者238人については次のことが確認された。なお、【 】内は平成25年度に初めて本調査に参加した者を再掲した。

(1) 調査対象者238人を環境省指定のばく露歴分類別に見ると、次のとおりであった。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	51人【1人】
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	17人【0人】
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	21人【2人】
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	17人【3人】
オ その他ばく露歴が特定できない者	132人【7人】

(2) 調査対象者238人のうち、石綿ばく露に関する所見として「胸膜プラーク（所見疑いを除く）」が認められた者は46人(19.3%)であった。この46人をばく露歴別に見ると、下記のとおりであった。

平成25年度に新たに「胸膜プラーク（所見疑いを除く）」が認められた者は2人で、新規受診者が1人、継続受診者が1人であった。

新規受診者1人は、ばく露歴ウであった。

継続受診者1人は、ばく露歴イであった。

ア 直接石綿を取り扱っていた職歴のある者	17人(37.0%)【0人】
イ 直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある者	6人(13.0%)【0人】
ウ 石綿を家庭内に持ち込むことによってばく露した可能性のある者	6人(13.0%)【1人】
エ 職域以外で石綿取扱い施設等に立ち入り経験のある者	3人(6.5%)【0人】
オ その他ばく露歴が特定できない者	14人(30.4%)【0人】

5 石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成22～24年度に受診し、医療の必要があると判断された者は計40人であった。

その後医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため医療機関等に照会を行ったところ、1人がびまん性胸膜肥厚（鶴見区に居住歴がなく、ばく露歴ア：平成24年度報告済）であった。結果は、P20に取りまとめた。

6 平成25年度未受診者の状況

平成22～24年度の間に1度でも受診し、平成25年度に受診しなかった者は175人であった。

その後の状況についてアンケート調査等を行ったところ、新たに1人が肺がん疑い（鶴見区に居住歴があり、ばく露歴ア）、1人がびまん性胸膜肥厚（鶴見区に居住歴があり、ばく露歴ア）であった。結果は、P20に取りまとめた。

7 今後の予定

平成22年度から5か年計画で始まった「第2期石綿の健康リスク調査」は平成26年度まで調査対象者の経過観察を行う予定であり、データの更なる蓄積を図っていく。

8 参考資料

- (1) 亀井敏昭, 石川雄一, 三浦溥太郎, 井内康輝, 森永謙二編著:「アスベストと中皮腫」, 篠原出版新社, 2007.
- (2) 森永謙二編:「石綿ばく露と石綿関連疾患 基礎知識と補償・救済」, 三信図書, 2008.
- (3) 栗原泰之, 森永謙二, 三浦溥太郎, 田中利彦編著:「胸膜プラーク」, 公益社団法人全国労働衛生団体連合会, 2012.

平成25年度報告書様式

表1 検査項目別人数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診＋胸部X線＋胸部CT	74	24.7%
問診＋胸部X線のみ	186	62.0%
問診＋胸部CTのみ	0	0.0%
問診のみ	40	13.3%
合計	300	100.0%

※平成26年3月31日現在

表2 年齢階層別人数

	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
40歳未満	6	2.0%	4	2.4%	2	1.5%
40～49歳	26	8.7%	14	8.5%	12	8.9%
50～59歳	48	16.0%	23	13.9%	25	18.5%
60～69歳	93	31.0%	49	29.7%	44	32.6%
70～79歳	94	31.3%	55	33.3%	39	28.9%
80～89歳	32	10.7%	19	11.5%	13	9.6%
90～99歳	1	0.3%	1	0.6%	0	0.0%
100歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	300	100.0%	165	100.0%	135	100.0%

※問診のみの者は含め、辞退者は除く。

※平成26年3月31日現在

表3 指定医療機関別人数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
神奈川県予防医学協会	104	40.0%	55	37.9%	49	42.6%
済生会横浜市東部病院	91	35.0%	54	37.2%	37	32.2%
横浜労災病院	42	16.2%	27	18.6%	15	13.0%
横浜市立大学附属病院	10	3.8%	1	0.7%	9	7.8%
神奈川県立循環器呼吸器病センター	9	3.5%	5	3.4%	4	3.5%
その他	4	1.5%	3	2.1%	1	0.9%
合計	260	100.0%	145	100.0%	115	100.0%

※その他は、胸部X線検査及びCT検査のいずれもせず、フィルム取寄せ(指定医療機関含む)により対応

※問診のみの者や辞退者は除く。

※平成26年3月31日現在

表4 受診状況別人数

分類	平成19～21年度の受診者※1	平成22年度受診	平成23年度受診	平成24年度受診	平成25年度受診	平成25年度受診者数						
						受診者			うち調査対象者			
						計	男性	女性	計	男性	女性	
平成19～21年度の受診者※1	●	●	●	●	●	173	100	73	155	87	68	
	●	●	●		●	12	6	6	12	6	6	
	●	●		●	●	9	6	3	6	3	3	
	●	●			●	2	2	0	2	2	0	
	●		●	●	●	3	1	2	3	1	2	
	●		●		●	3	3	0	3	3	0	
	●			●	●	0	0	0	0	0	0	
	●				●	2	2	0	2	2	0	
平成22年度 新規受診者	／	●	●	●	●	15	7	8	14	6	8	
	／	●	●		●	0	0	0	0	0	0	
	／	●		●	●	2	0	2	2	0	2	
	／	●			●	0	0	0	0	0	0	
平成23年度 新規受診者	／	／	●	●	●	15	7	8	15	7	8	
	／	／	●		●	0	0	0	0	0	0	
平成24年度 新規受診者	／	／	／	●	●	11	6	5	11	6	5	
平成25年度 新規受診者	／	／	／	／	●	13	5	8	13	5	8	
小計						260	145	115	238	128	110	
平成19～21年度の受診者※1	●					※2	291	146	145	238	107	131
	●	●				※3	56	33	23	47	25	22
	●	●	●			※4	29	17	12	25	13	12
	●	●	●	●		※5	10	6	4	9	5	4
	●	●	●	●		※6	31	17	14	27	14	13
	●		●	●		※7	1	1	0	0	0	0
	●		●			※8	2	2	0	2	2	0
	●			●		※9	1	0	1	1	0	1
平成22年度 新規受診者	／	●	●			※10	4	2	2	4	2	2
	／	●	●	●		※11	3	3	0	3	3	0
	／	●		●		※12	0	0	0	0	0	0
	／	●				※13	19	11	8	14	7	7
平成23年度 新規受診者	／	／	●	●		※14	5	4	1	5	4	1
	／	／	●			※15	11	6	5	11	6	5
平成24年度 新規受診者	／	／	／	●		※16	3	0	3	3	0	3
小計						466	248	218	389	188	201	
合計						726	393	333	627	316	311	

※受診した年度にすべて●を記入

※平成26年3月31日現在

※1 平成19～21年度の受診者は、平成19～21年度の間に1度も受診した者

※2 平成19～21年度の間に1度も受診した者のうち、平成22～25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※3 平成19～21年度の間に1度も受診し、且つ平成22年度に受診した者のうち、平成23～25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※4 平成19～21年度の間に1度も受診し、且つ平成22年度及び23年度に受診した者のうち、平成24～25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※5 平成19～21年度の間に1度も受診し、且つ平成22年度及び24年度に受診し、並びに平成23年度、25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※6 平成19～21年度の間に1度も受診し、且つ平成22年度～25年度で25年度のみ受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※7 平成19～21年度の間に1度も受診し、且つ平成23年度及び24年度に受診し、並びに平成22年度、25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※8 平成19～21年度の間に1度も受診し、且つ平成23年度に受診し、並びに平成22年度、24～25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※9 平成19～21年度の間に1度も受診し、且つ平成24年度に受診し、並びに平成22～23年度、25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※10 平成19～21年度に1度も受診せず、且つ平成22年度及び23年度に受診し、並びに平成24年度、25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※11 平成19～21年度に1度も受診せず、且つ平成22～25年度で25年度のみ受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※12 平成19～21年度に1度も受診せず、且つ平成22年度及び24年度に受診し、並びに平成23年度、25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※13 平成19～21年度に1度も受診せず、且つ平成22年度に受診し、並びに平成23～25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※14 平成19～21年度に1度も受診せず、且つ平成23年度及び24年度に受診し、並びに平成22年度、25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※15 平成19～21年度に1度も受診せず、且つ平成23年度のみ受診し、並びに平成22年度、24～25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

※16 平成19～21年度に1度も受診せず、且つ平成24年度のみ受診し、並びに平成22～23年度、25年度に受診しなかった者(問診のみの者を含む)

表5 各年度の受診者数及び累計実人数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	累計延人数	累計実人数
受診者	279	428	405	365	307	282	260	2326	726
うち調査対象者	260	358	345	317	278	254	238	2050	627

※ 問診のみの者を除く。

※ 過去の報告書からの転記

表6 次年度検査予定者、検査終了者

	受診者						うち調査対象者					
	計		男性		女性		計		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
次年度検査予定者	248	95.4%	137	94.5%	111	96.5%	228	95.8%	122	95.3%	106	96.4%
検査終了者	12	4.6%	8	5.5%	4	3.5%	10	4.2%	6	4.7%	4	3.6%
合計	260	100.0%	145	100.0%	115	100.0%	238	100.0%	128	100.0%	110	100.0%

※平成26年3月31日現在

表7 平成25年度に受診しなかった者のアンケート結果 (問診のみの者を含む)

表7-1 平成25年度未受診者 ※1数

	受診者						うち調査対象者					
	合計		男性		女性		合計		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
平成25年度未受診者	98	100.0%	50	100.0%	48	100.0%	91	100.0%	43	100.0%	48	100.0%
うち回答者	81	82.7%	42	84.0%	39	81.3%	75	82.4%	36	83.7%	39	81.3%

※1 平成25年度未受診者は、平成22～24年度の間に1度でも受診し、平成25年度に受診しなかった者

※ 死亡者・健康管理手帳取得者・石綿新法認定者・医療機関照会者・既辞退者を除きアンケートを送付。

表7-2 平成25年度に受診しなかった理由

	受診者(回答件数)						うち調査対象者(回答件数)					
	合計		男性		女性		合計		男性		女性	
	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)
前回異常がなかったから	29	35.8%	12	28.6%	17	43.6%	28	37.3%	11	30.6%	17	43.6%
自覚症状(異常)がないから	19	23.5%	13	31.0%	6	15.4%	16	21.3%	10	27.8%	6	15.4%
忙しく時間がないから	23	28.4%	11	26.2%	12	30.8%	19	25.3%	7	19.4%	12	30.8%
住民健診で受けたから	4	4.9%	2	4.8%	2	5.1%	3	4.0%	1	2.8%	2	5.1%
職場健診を受けたから	5	17.2%	3	7.1%	2	5.1%	5	6.7%	3	8.3%	2	5.1%
人間ドックで受けたから	2	2.5%	1	2.4%	1	2.6%	2	2.7%	1	2.8%	1	2.6%
石綿関連疾患が判明し、治療中だから	1	1.2%	1	2.4%	0	0.0%	1	1.3%	1	2.8%	0	0.0%
石綿関連以外の他疾患が判明し、治療中だから	8	9.9%	4	9.5%	4	10.3%	8	10.7%	4	11.1%	4	10.3%
その他の理由	23	28.4%	13	31.0%	10	25.6%	22	29.3%	12	33.3%	10	25.6%
回答数合計	114		60		54		104		50		54	
回答者件数	81		42		39		75		36		39	

※アンケートは、複数回答可として実施

※%は、回答者件数に対する割合を示す。

A表:調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関する
ばく露歴集計表

ばく露歴分類	ばく露歴					小計		合計		
	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	計	うち女性	計	うち女性	
ア	●							51	3	
	●	●								
	●		●							
	●			●						
	●				●		32			2
	●	●	●							
	●	●		●						
	●	●			●		10			0
	●		●	●						
	●		●		●		2			1
	●			●	●		3			0
	●	●	●	●						
	●	●	●		●		2			0
	●	●		●	●		2			0
	●	●	●	●	●					
	イ		●							
		●	●							
		●		●						
		●	●	●						
		●	●		●		3	2		
		●	●	●	●		2	0		
ウ			●					21	16	
			●	●						
			●		●		15			13
			●	●	●		6			3
エ				●				17	8	
				●	●		17			8
オ					●			132	80	
合計※	51	31	27	33	238	238	110	238	110	
うち女性※	3	3	17	13	110					

※ 縦計については、重複計上により算定した。

※ 問診のみの者を除く。

**B表：調査対象者（平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者）に関する
ばく露歴分類と年齢階層別のクロス表**

年齢階層	合計		ア. 主に直接職歴		イ. 主に間接職歴		ウ. 主に家庭内ばく露		エ. 主に立入・屋内環境ばく露		オ. その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	5	1			1				2	1	2	
40～49歳	19	11	2		1		1	1	1		14	10
50～59歳	38	18	7	1	4	1	3	1	3	3	21	12
60～69歳	80	41	15	1	5		11	9	5	1	44	30
70～79歳	74	30	21	1	3	1	4	3	6	3	40	22
80～89歳	21	9	5		3	1	2	2			11	6
90～99歳	1	0	1									
100歳以上	0	0										
合計	238	110	51	3	17	3	21	16	17	8	132	80

※平成26年3月31日現在

※問診のみの者を除く。

C表：調査対象者（平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者）に関する
ばく露歴分類と画像所見のクロス集計表

C-1表：胸部X線の画像所見について

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
調査対象者	238	110	51	3	17	3	21	16	17	8	132	80
胸部X線受診者	238	110	51	3	17	3	21	16	17	8	132	80
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	29 (6)	8 (2)	9		4 (1)		2	1	2		12 (5)	7 (2)
①胸水貯留												
②胸膜ブ ラーク(胸膜 肥厚斑)	26 (4)	7 (1)	9		3 (1)		2	1	2		10 (3)	6 (1)
③びまん性 胸膜肥厚	3		1		1				1			
⑤肺野の間 質影	3 (1)		1 (1)		1				1			
⑦肺野の腫 瘤状陰影(肺 がん等)	2 (2)	1 (1)									2 (2)	1 (1)
胸部X線 未受診者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※①～⑦のうち、重複計上含む。

※()は所見疑いを再掲

※問診のみの者を除く。

※石綿関連所見(疑いを含む)実人数には、②がない者も含む。

C-2表:胸部CTの画像所見について

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
調査対象者	238	110	51	3	17	3	21	16	17	8	132	80
胸部CT受診者	68	23	21	1	7	1	7	4	6	1	27	16
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	52 (4)	13 (2)	19 (1)		7	1	6	3	3	1	17 (3)	8 (2)
①胸水貯留												
②胸膜プラーク(胸膜肥厚斑)	50 (4)	13 (2)	18 (1)		6	1	6	3	3	1	17 (3)	8 (2)
③びまん性胸膜肥厚	3		1		1				1			
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い												
⑤肺野の間質影	4	1	1		1				1		1	1
⑥円形無気肺	1								1			
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	1 (1)	1 (1)									1 (1)	1 (1)
⑧リンパ節の腫大												
②胸膜プラーク且つ⑤肺野の間質影あり※1	2	1							1		1	1
胸部CT未受診者	170	87	30	2	10	2	14	12	11	7	105	64

※①～⑧は重複計上含む。

※()は所見疑いを再掲している。

※1 胸膜プラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上している。

※問診のみの者を除く。

※石綿関連所見(疑いを含む)実人数には、②がない者も含む。

⑤肺野の間質影の詳細分類(胸部CTの画像所見)

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
肺野の間質影実人数	4	1	1		1				1		1	1
胸膜下曲線様陰影												
胸膜下曲線様陰影うち直下(再掲)												
胸膜下曲線様陰影うち非直下(再掲)												
小葉中心性粒状影												
すりガラス様陰影												
網状影	4	1	1		1				1		1	1
蜂窩肺	1				1							
肺実質内带状影												

※()は所見疑いを再掲

※一人が複数の所見を有している場合には、それぞれの所見を記載

③びまん性胸膜肥厚の所見における石綿との関連

③びまん性胸膜肥厚	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
石綿の関連を強く疑う	2		1						1			
石綿の関連を疑う												
石綿の関連の可能性はある												
小計	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
他の原因である可能性が高い	1				1							
合計	3	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑤肺野の間質影の所見における石綿との関連

⑤肺野の間質影	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
石綿の関連を強く疑う												
石綿の関連を疑う												
石綿の関連の可能性はある												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の原因である可能性が高い	4	1	1		1				1		1	1
合計	4	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1

※()は所見疑いを再掲

**C-3表：調査対象者（平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者）に関する
石綿関連所見が見られた者の年齢階層別（胸部CTの画像所見）**

①～⑧の年齢階層別集計

①胸水貯留

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80～89歳												
90～99歳												
100歳以上												
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※（ ）は所見疑いを再掲

②胸膜プラーク(胸膜肥厚斑)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳	3	1	1								2	1
60～69歳	11	3	3		3		3	1			2	2
70～79歳	26 (2)	5 (1)	10		1		2	1	3	1	10 (2)	3 (1)
80～89歳	9 (2)	4 (1)	3 (1)		2	1	1	1			3 (1)	2 (1)
90～99歳	1		1									
100歳以上												
合計	50 (4)	13 (2)	18 (1)	0	6	1	6	3	3	1	17 (3)	8 (2)

※（ ）は所見疑いを再掲

③びまん性胸膜肥厚

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳	1				1							
60～69歳												
70～79歳	1								1			
80～89歳												
90～99歳	1		1									
100歳以上												
合計	3	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0

※（ ）は所見疑いを再掲

④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80～89歳												
90～99歳												
100歳以上												
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑤肺野の間質影

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳	1				1	1						
60～69歳												
70～79歳	3	1	1						1		1	1
80～89歳												
90～99歳												
100歳以上												
合計	4	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1

※()は所見疑いを再掲

⑥円形無気肺

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳	1								1			
80～89歳												
90～99歳												
100歳以上												
合計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80～89歳	1 (1)	1 (1)									1 (1)	1 (1)
90～99歳												
100歳以上												
合計	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)

※()は所見疑いを再掲

⑧リンパ節の腫大

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80～89歳												
90～99歳												
100歳以上												
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

②胸膜プラーク且つ⑤肺野の間質影あり

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳	2	1							1	0	1	1
80～89歳												
90～99歳												
100歳以上												
合計	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1

※()は所見疑いを再掲

※胸膜プラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上している。

D表: 調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関する
ばく露歴分類が「オ(その他)」の者の詳細

D-1表: ばく露歴分類が「オ(その他)」の居住開始時期(胸部CTを受診した者)

「オ(その他)」の調査対象者		居住開始時期															
		～昭和29年までに居住を開始した者		昭和30年から昭和34年までに居住を開始した者		昭和35年から昭和39年までに居住を開始した者		昭和40年から昭和44年までに居住を開始した者		昭和45年から昭和49年までに居住を開始した者		昭和50年から昭和54年までに居住を開始した者		昭和55年から昭和59年までに居住を開始した者		昭和60年から平成元年までに居住を開始した者	
実人数	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
27	16	15	9	2	1	4	2	1	1	3	2	1	0	0	0	1	1

D-2表: 調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関する
ばく露歴分類が「オ(その他)」の対象期間に居住歴がある者と画像所見のクロス集計表

「オ(その他)」の調査対象者			居住開始時期															
			～昭和29年までに居住を開始した者		昭和30年から昭和34年までに居住を開始した者		昭和35年から昭和39年までに居住を開始した者		昭和40年から昭和44年までに居住を開始した者		昭和45年から昭和49年までに居住を開始した者		昭和50年から昭和54年までに居住を開始した者		昭和55年から昭和59年までに居住を開始した者		昭和60年から平成元年までに居住を開始した者	
	実数	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
「オ(その他)」の調査対象者	27	16	15	9	2	1	4	2	1	1	3	2	1	0	0	0	1	1
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	17 (3)	8 (2)	11 (3)	6 (2)	2	1	2		1	1			1					
①胸水貯留																		
②胸膜ブランク(胸膜肥厚斑)	17 (3)	8 (2)	11 (3)	6 (2)	2	1	2		1	1			1					
うち肺野の間質影もある者 ^{※1}	1	1	1	1														
③びまん性胸膜肥厚																		
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い																		
⑤肺野の間質影	1	1	1	1														
⑥円形無気肺																		
⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)														
⑧リンパ節の腫大																		

※胸部CTの画像所見を基に計上している。

※①～⑧は重複計上含む

※()は所見疑いを再掲

※1 胸膜ブランク、うち肺野の間質影もある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上している。

※石綿関連所見(疑いを含む)実人数には、②がない者も含む。

D-3表:ばく露歴分類が「オ(その他)」の者とプロット数との関係表

	プロット対象者数		プロット数	
	計	うち女性	計	うち女性
胸膜プラークあり	14	6	20	9
うち肺野の間質影もあり	1	1	1	1
胸膜プラーク以外の石綿関連所見あり	0	0	0	0
所見なし又は石綿関連所見以外の所見あり	13	10	20	16
合計	27	16	40	25

※胸部CTの画像所見を基としている。

※複数地域に居住歴のある者は、それぞれの地域にプロットしている。

D-4表:調査対象者(平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者)に関するばく露歴分類が「オ(その他)」で胸膜プラークのプロットがある町名別一覧表

	プロット数					
	胸膜プラークありの者のプロット数		うち肺野の間質影もある者のプロット数		全プロット数	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
豊岡町	1				3	1
佃野町	5	2	1	1	9	6
北寺尾	1	1			1	1
尻手	1				1	
栄町	1				1	
朝日町	1				1	
元宮	2	2			2	2
鶴見中央	8	4			16	10
その他					6	5
計	20	9	1	1	40	25

※胸部CTの画像所見を基としている。

※複数の居住歴のある者は、それぞれの町ごとに計上している。

D 図：平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者で、
 ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図
 (胸部CTの画像所見)



第2期石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者の診断経過について
(累計)

平成22・23・24年度に石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者^{※1}1人がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て、医療機関等に照会を行った。
また、平成22・23・24年度に石綿の健康リスク調査を受診したが医療が必要と判断されず、健康リスク調査とは別のきっかけ(平成23・24・25年度の石綿の健康リスク調査未受診^{※2})で、石綿関連疾患と診断されていないか、本人や家族に照会を行った。

照会を行った結果、肺がん疑い1人、びまん性胸膜肥厚2人と診断されている。

このうち、平成25年度末現在、石綿救済制度で認定された者が1人(びまん性胸膜肥厚:鶴見区に居住歴はなく、ばく露歴ア)、石綿救済制度申請中の者が1人(肺がん疑い:鶴見区に居住歴あり、ばく露歴ア)であったことが、本人や家族への問い合わせにより確認された。

※1 平成22、23、24年度に1度でも石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者

ただし、その後の医療の結果、石綿関連疾患と判断されなかった者は除く

※2 平成23、24、25年度に1度でも石綿の健康リスク調査を受診しなかった者

表アー1:石綿関連疾患と診断された者の診断状況

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
リスク調査が発見の契機												
a. 中皮腫												
b. 肺がん												
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚	1		1									
小計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リスク調査以外が発見の契機												
a. 中皮腫												
b. 肺がん	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)								
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚	1		1									
小計	2 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計												
a. 中皮腫												
b. 肺がん	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)								
c. 石綿肺												
d. 良性石綿胸水												
e. びまん性胸膜肥厚	2		2									
合計	3 (1)	1 (1)	3 (1)	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

表ア-2: 石綿関連疾患と診断された者の労災、石綿救済法の認定状況

	合計				ア.主に直接職歴				イ.主に間接職歴				ウ.主に家庭内ばく露				エ.主に立入・屋内環境ばく露				オ.その他							
	労災		石綿救済		労災		石綿救済		労災		石綿救済		労災		石綿救済		労災		石綿救済		労災		石綿救済					
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性				
リスク調査が発見の契機																												
a. 中皮腫																												
b. 肺がん																												
c. 石綿肺																												
d. 良性石綿胸水																												
e. びまん性胸膜肥厚			1				1																					
小計	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リスク調査以外が発見の契機																												
a. 中皮腫																												
b. 肺がん																												
c. 石綿肺																												
d. 良性石綿胸水																												
e. びまん性胸膜肥厚																												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計																												
a. 中皮腫																												
b. 肺がん																												
c. 石綿肺																												
d. 良性石綿胸水																												
e. びまん性胸膜肥厚			1				1																					
合計	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

表イ: 石綿関連疾患と診断された者の発見契機別

	合計		健康リスク調査		健康リスク調査以外		住民健診		職場健診		人間ドック		自覚症状		他疾患治療中		その他		不明	
	合計	うち女性	計	うち女性	小計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
	a. 中皮腫																			
b. 肺がん	1 (1)	1 (1)			1 (1)	1 (1)							1 (1)	1 (1)						
c. 石綿肺																				
d. 良性石綿胸水																				
e. びまん性胸膜肥厚	2		1		1								1							

※()は所見疑いを再掲

表ウ: 石綿関連疾患と診断された者の年齢階層別分類表

年齢階層	合計		a. 中皮腫		b. 肺がん		その他石綿関連疾患	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満								
50～59歳								
60～69歳	1						1	
70～79歳	2 (1)	1 (1)			1 (1)	1 (1)	1	
80～89歳								
90歳以上								
合計	3 (1)	1 (1)			1 (1)	1 (1)	2	0

※()は所見疑いを再掲

別添1

平成25年度 横浜市における第2期石綿の健康リスク調査問診票

※太枠のみ記載して下さい。

環境ID ー

フリガナ			大・昭・平	
氏名		生年月日	年 月 日 (歳)	
現住所	〒 ー		性別	男 ・ 女
			電話番号	() ー
			携帯電話番号	() ー
現住所と郵便物送付先が異なる場合、下記に記載してください。同じ場合は、同上と記載してください。				
郵便物送付先				

あてはまる口に印をつけてください。

1. この健康リスク調査を受ける理由は何ですか。

(1) 自分が石綿を扱う会社に勤務しており、直接石綿を扱う作業を行っていた。

(2) 自分が石綿を扱う会社に勤務していたが、直接石綿を扱う作業はしていない。
(事務や経理などの石綿を扱わない作業を担当していた。)

(3) 家族が石綿を扱う仕事や日曜大工をしていた。

(4) 石綿取扱施設や吹き付け石綿のある倉庫等への立入経験がある。

(5) 石綿取扱工場周辺に居住・通学・通勤をしていた。

(6) その他(他に受診理由があれば記載してください。)

()

2. 現在までに、**肺・呼吸器の病気**にかかったことがありますか。

(1) ある

①いつ頃から()

②治療した病院名()

③病名にチェックしてください。

1 肺結核 4 慢性気管支炎 7 肺気腫 10 その他の呼吸器の病気()

2 結核性胸膜炎 5 じん肺(石綿肺) 8 原因不明の胸膜炎

3 肺がん 6 間質性肺炎(肺線維症) 9 原因不明の胸水

(2) 以前にあったが、今は治っている。

①いつから、いつまで()

②治療した病院名()

③病名にチェックしてください。

1 肺結核 4 慢性気管支炎 7 肺気腫 10 その他の呼吸器の病気()

2 結核性胸膜炎 5 じん肺(石綿肺) 8 原因不明の胸膜炎

3 肺がん 6 間質性肺炎(肺線維症) 9 原因不明の胸水

(3) なし

3. 現在、**肺・呼吸器**に関して何か症状がありますか。

(1) ある

①いつ頃から()

②症状は(発熱 ・ せき ・ 呼吸困難 ・ 胸痛 ・ その他())

(2) なし

4. 現在、肺・呼吸器以外の病気で病院へ通院していますか。

(1) いる

①病名	(例) 高血圧		
②病院名	(例) 石綿診療所		
③通院科名	(例) 内科		
④主治医名	(例) 横浜太郎先生		
⑤通院頻度	(例) 月2回		

(2) いない

5. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいますか。

(1) ある

- ①誰が()
 ②どのような病気(中皮腫 ・ 肺がん ・ 石綿肺 ・ びまん性胸膜肥厚 ・ その他()
 ③いつ頃から()
 ④通院していた病院名()

(2) なし

(3) わからない()

6. 喫煙の有無

(1) 現在、毎日吸っている。

① 1日平均 本 ②何歳～何歳(何年間)(歳～ 歳(年間))

(2) 過去に吸っていた。

① 1日平均 本 ②何歳～何歳(何年間)(歳～ 歳(年間))

(3) 普段は吸わないが稀に吸うことがある。

① ひと月に 本 ②何歳～何歳(何年間)(歳～ 歳(年間))

(4) 吸わない。

(5) 同居者に吸っている方がいる。誰が吸っておられますか()

7. 胸部X線検査受診の有無 無 有 : 時期(年 月ごろ)・医療機関名()
 (1年程度前まで) 結果 特になし 通院している(疾患名)

胸部CT検査受診の有無 無 有 : 時期(年 月ごろ)・医療機関名()
 (1年程度前まで) 結果 特になし 通院している(疾患名)

8. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかることがあれば具体的に記入してください。

問診日

問診者

9. 居住歴（出生から現在までの居住歴）を記載してください。

※ 実際に住んでいた場所を、県〇市〇町〇番地まで詳しく記載してください。

※ 場所が具体的に分からない場合については、分かる範囲で記載してください。

例えば、過去に、〇〇県〇〇市△△町〇-〇に居住していたが、〇〇市までしか分からなかった場合などは、住所が分かるような地理的な情報は積極的に記載してください。（住所は〇〇市までしか分からないが、家は●

●小学校の北側で■川の本流にあった。また、△△郵便局が真横にあった。等）

居住した時期	住所	備考
昭和・平成 年 月～ 年 月		

10. 本人の通学歴を記載してください。

※ 学校の所在地は、出来る限り、〇県〇市〇町〇番地〇まで詳しく記載して下さい。

通学した時期	学校名	所在地	備考
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			
昭和・平成 年 月～ 年 月			

受診者の家庭生活等について記入願います。(複数回答可)

- | | | | |
|--|----|------|---------|
| <input type="checkbox"/> 1. 石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。 | 年～ | 年(通算 | 年) |
| <input type="checkbox"/> 2. 家族が石綿関連の仕事についており、
道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。 | 年～ | 年(通算 | 年) |
| <input type="checkbox"/> 3. 家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。 | 年～ | 年(通算 | 年) |
| <input type="checkbox"/> 4. 石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。
(都道府県名・市町村名 | 年～ | 年(通算 | 年)
) |
| <input type="checkbox"/> 5. 造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。
(都道府県名・市町村名 | 年～ | 年(通算 | 年)
) |
| <input type="checkbox"/> 6. 建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。
(都道府県名・市町村名 | 年～ | 年(通算 | 年)
) |
| <input type="checkbox"/> 7. 自動車修理工場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。
(都道府県名・市町村名 | 年～ | 年(通算 | 年)
) |
| <input type="checkbox"/> 8. 幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある。
(都道府県名・市町村名 | 年～ | 年(通算 | 年)
) |
| <input type="checkbox"/> 9. 吹きつけ石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある | 年～ | 年(通算 | 年) |
| | 年～ | 年(通算 | 年) |
| <input type="checkbox"/> 10. いずれもない | | | |
| <input type="checkbox"/> 11. わからない | | | |

職歴に関するチェック項目

【①業種】

- | | |
|---|--|
| 1 鉱業 | 4 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 11 <input type="checkbox"/> 石綿鉱業 | 41 <input type="checkbox"/> 配管・配線取扱い業 |
| 12 <input type="checkbox"/> その他の鉱業 | 42 <input type="checkbox"/> 電気業 |
| 2 建設業 | 43 <input type="checkbox"/> ガス供給業 |
| 21 <input type="checkbox"/> 石綿含有製品を取り扱う作業 | 44 <input type="checkbox"/> 熱供給業 |
| 22 <input type="checkbox"/> 石綿含有製品の近傍で行うその他の作業 | 45 <input type="checkbox"/> 水道業 |
| 23 <input type="checkbox"/> その他の作業 | 5 運輸業 |
| 3 製造業 | 51 <input type="checkbox"/> 鉄道業 |
| 30 <input type="checkbox"/> 石綿製品製造業 | 52 <input type="checkbox"/> 道路貨物運送業 |
| 31 <input type="checkbox"/> 清酒製造業 | 53 <input type="checkbox"/> 水運業 |
| 32 <input type="checkbox"/> 化学工業 | 54 <input type="checkbox"/> 倉庫業 |
| 33 <input type="checkbox"/> 石油製品・石炭製品製造業 | 55 <input type="checkbox"/> 運輸に附帯するサービス業 |
| 34 窯業・土石製品製造業 | 6 医療・福祉 |
| 341 <input type="checkbox"/> ガラス・同製品製造業 | 61 <input type="checkbox"/> 医療業 |
| 342 <input type="checkbox"/> セメント・同製品製造業 | 7 サービス業 |
| 343 <input type="checkbox"/> 建設用粘土製品製造業(陶磁器製を除く) | 71 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理業 |
| 344 <input type="checkbox"/> 陶磁器・同関連製品製造業 | 72 <input type="checkbox"/> 自動車整備業 |
| 35 <input type="checkbox"/> 鉄鋼業 | 73 <input type="checkbox"/> 機械等修理業 |
| 36 <input type="checkbox"/> 非鉄金属製造業
(銅・アルミニウム・鉛などの板・合金などを製造) | 74 <input type="checkbox"/> その他のサービス業 |
| 37 <input type="checkbox"/> 金属製品製造業 | 8 <input type="checkbox"/> 解体業 |
| 38 <input type="checkbox"/> 一般・輸送用機械器具製造業 | 9 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) |
| 39 <input type="checkbox"/> 造船業 | 10 <input type="checkbox"/> 不明 |
| 310 <input type="checkbox"/> 食料品製造業 | 11 <input type="checkbox"/> なし |
| 311 <input type="checkbox"/> 繊維工業 | |
| 312 <input type="checkbox"/> その他の製造業 | |

【②仕事内容】

- | | |
|---|--|
| 1 <input type="checkbox"/> 石綿鉱山での作業、石綿製品の製造に関わる作業 | 19 <input type="checkbox"/> レンガ・陶磁器・セメント製品製造に関わる作業 |
| 2 <input type="checkbox"/> 石綿や石綿含有岩綿等の吹きつけ・貼りつけ等作業 | 20 <input type="checkbox"/> 吹きつけ石綿のある部屋・建物・倉庫等での作業
(教員 その他) |
| 3 <input type="checkbox"/> 石綿原綿または石綿製品の運搬・倉庫内作業 | 21 <input type="checkbox"/> エレベーター製造または保守に関わる作業 |
| 4 <input type="checkbox"/> 配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業 | 22 <input type="checkbox"/> ランドリー・クリーニングに関わる作業 |
| 5 <input type="checkbox"/> 造船所内の作業(造船所における事務職含めた全職種) | 23 <input type="checkbox"/> ガスマスクの製造に関わる作業 |
| 6 <input type="checkbox"/> 船に乗り込んで行う作業(船員 その他) | 24 <input type="checkbox"/> 上下水道に関わる作業 |
| 7 <input type="checkbox"/> 建築現場の作業(建築現場における事務職含めた全職種) | 25 <input type="checkbox"/> ゴム・タイヤの製造に関わる作業 |
| 8 <input type="checkbox"/> 解体作業(建築物、工作物、石綿含有製品等) | 26 <input type="checkbox"/> 道路建設・補修等に関わる作業 |
| 9 <input type="checkbox"/> 港湾での荷役作業 | 27 <input type="checkbox"/> 映画放送舞台に関わる作業 |
| 10 <input type="checkbox"/> 発電所・変電所・その他電気設備での作業 | 28 <input type="checkbox"/> 農薬、バーミキュライト等を扱う作業 |
| 11 <input type="checkbox"/> 鉄鋼所または鉄鋼製品製造に関わる作業 | 29 <input type="checkbox"/> 酒類製造に関わる作業 |
| 12 <input type="checkbox"/> 耐熱(耐火)服や耐火手袋等を使用する作業 | 30 <input type="checkbox"/> 消防に関わる作業 |
| 13 <input type="checkbox"/> 自動車・鉄道車両等を製造・整備・修理・解体する作業 | 31 <input type="checkbox"/> 歯科技工に関わる作業 |
| 14 <input type="checkbox"/> 鉄道等の運行に関わる作業 | 32 <input type="checkbox"/> 金庫の製造・解体に関わる作業 |
| 15 <input type="checkbox"/> ガラス製品製造に関わる作業 | 33 <input type="checkbox"/> その他の石綿に関連する作業 |
| 16 <input type="checkbox"/> 石油精製工場、化学工場内の精製・製造作業や
配管修理等の作業 | 34 <input type="checkbox"/> タルク等石綿含有物を使用する作業 |
| 17 <input type="checkbox"/> 清掃工場または廃棄物の収集・運搬・中間処理・処分の作業 | 35 <input type="checkbox"/> いずれもない |
| 18 <input type="checkbox"/> 電気製品・産業用機械の製造・修理に関わる作業 | 36 <input type="checkbox"/> 不明(忘れた・覚えていない) |

【③仕事で取り扱った材料・製品】

- 1 石綿原綿(わた・繊維)
- 2 石綿吹きつけ材
- 3 石綿フェルト
- 4 石綿保温材・煙突材
- 5 石綿含有屋根材、スレート
- 6 石綿紙
- 7 石綿セメント管・石綿パイプ
- 8 石綿含有ボード(外壁材・内装材)
- 9 石綿パッキング・ガスケット
- 10 石綿織物・布・ひも・テープ・リボンなど
- 11 石綿含有塗料、石綿含有シーリング材、石綿含有接着剤
- 12 石綿含有摩擦材(ブレーキパッドなど)
- 13 その他の石綿製品
- 14 いずれもない
- 15 わからない

【④職場のそばでの作業の有無】

- 1 石綿含有製品(チューブ・パイプ・板・ボール紙・断熱材など)を切断、取り付け、取り外したりする
- 2 溶接
- 3 支柱・隔壁・ガード(garder)に耐火塗装をおこなったり、はがしたりする。
- 4 その他
- 5 不明
- 6 なし

【⑤仕事で頻繁に出入りしていた場所】

- 1 倉庫、車庫
- 2 部材置き場 (どこの)
- 3 配管・配線の現場 (どこの)
- 4 船体 (どこの)
- 5 その他()
- 6 不明
- 7 なし

【⑥職場に吹き付け石綿の部屋の有無】

- 1 ある
- 2 ない
- 3 不明

【⑦会社で労災認定の有無】(ある場合は認定年月日)

- 1 ある(認定年月日 年 月 日)
- 2 ない
- 3 不明

横浜市一般環境経路による石綿ばく露健康リスク調査 受診券（控）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

下記の方は、健康リスク調査事業に同意されましたので、よろしくご高診ください。

なお、検査項目は下記の○印を付けた項目となっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

No.				
ふりがな				
氏名		(男・女)	生年月日	T・S 年 月 日
住所	横浜市 区			
	電話			

《検査項目》 1. 胸部X線検査 (P→A 1枚)

2. 胸部CT検査 (肺野条件 及び 縦隔条件)

(検診 / 通常 / HRCT)

()

3. その他()

受診券有効期限	平成 年 月 日
---------	----------

平成 年 月 日

様

横浜市中区港町1-1

横浜市長

問い合わせ先: 横浜市健康福祉局保健事業課 045-671-2482

横浜市控(1枚目)

照 会 票

調査対象者	環境省番号	
氏 名	生年月日	
住 所		
結果通知内容		

該当する箇所の□にチェックをお願いします。結果につきましては、環境省へ報告させていただきます。

1 診断名(所見)及び診断日について

- ①中皮腫 (確定 疑い 診断日: 年 月 日)
②肺がん (確定 疑い 診断日: 年 月 日)
③胸膜プラーク所見 (確定 疑い 診断日: 年 月 日)
④石綿肺 (確定 疑い 診断日: 年 月 日)
⑤良性石綿胸水 (確定 疑い 診断日: 年 月 日)
⑥びまん性胸膜肥厚 (確定 疑い 診断日: 年 月 日)
⑦その他の疾患 ()
(確定 疑い 診断日: 年 月 日)
⑦疾患なし

2 診断方法について(診断名①～⑤にチェックしている場合にご記入ください。)

- CT 胸腔鏡
HRCT 病理組織診断
呼吸機能検査 細胞診(BALを含む)
気管支内視鏡 その他()

3 現在の状況について

- 経過観察終了
経過観察中
継続治療中
その他 ()

備考

作成日 年 月 日

医療機関住所

医療機関名

印

別添4

横浜市石綿ばく露健康リスク調査指定医療機関一覧

医療機関名	住所
<p>公益財団法人 神奈川県予防医学協会</p>	<p>横浜市中区日本大通58 日本大通ビル</p>
<p>社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院</p>	<p>横浜市鶴見区下末吉3-6-1</p>
<p>独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院</p>	<p>横浜市港北区小机町3211</p>
<p>地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター</p>	<p>横浜市金沢区富岡東6-16-1</p>
<p>公立大学法人 横浜市立大学附属病院</p>	<p>横浜市金沢区福浦3-9</p>

横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会委員名簿

平成26年3月31日現在

委員長	みうら ひろたろう 三浦 溥太郎	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 副病院長・呼吸器科部長
副委員長	くりはら やすゆき 栗原 泰之	聖路加国際病院 放射線科部長
副委員長	たかやま しげみつ 高山 重光	管工業健康保険組合健康管理センター 所長
副委員長	もりなが けんじ 森永 謙二	独立行政法人 環境再生保全機構 石綿健康被害救済部 顧問医師
委員	いまさか けいすけ 今坂 圭介	社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 呼吸器内科医員
委員	いわさわ たえ 岩澤 多恵	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター 放射線科部長
委員	うえはら たかし 上原 隆志	独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院 呼吸器内科医長
委員	おはら いちよう 小原 一葉	自衛隊横須賀病院 検査研究課長
委員	くどう まこと 工藤 誠	公立大学法人 横浜市立大学附属病院 呼吸器内科講師
委員	しのはら たけし 篠原 岳	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科医長
委員	しみず くにひこ 清水 邦彦	社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 呼吸器内科部長
委員	たなか としひこ 田中 利彦	公益財団法人 神奈川県予防医学協会 専門医
委員	の だ かずまさ 野田 和正	公益財団法人 神奈川県予防医学協会中央診療所 がん予防医療部長 呼吸器検診部

(敬称略) (委員名:五十音順)

平成25年度環境省委託業務報告書

平成25年度一般環境経路による石綿ばく露健康リスク調査（横浜市）委託業務

平成26年3月31日

発注者 環境省総合環境政策局
環境保健部企画課石綿健康被害対策室
TEL : 03-3581-3351(内線 6389) FAX : 03-5510-0122
E-mail ISHIWATA@env.go.jp

受託者 住所 横浜市中区港町1丁目1番地
名称 横浜市